

# 若月新聞

6月1日(火)  
創刊号

発行 本のペンギン堂

あなたのペットのグッズ、  
つくります。  
ミニTシャツ、ミニ本、  
カレンダーつくります。

Tama-ya

<http://www.a2h2.com/tamaya/>

## 笑いすぎるとキケンです

### なにもかにも

### まつがいだらけなんです。

#### 言いまつがい

糸井重里・監修

とにかく、笑うという事はカラダに良いらしい。ガンとか、そういう難病でさえ、笑うことで退治できるというハナシもあるそうだから、笑いのパワーは並大抵のことではない。そういうわけで、みなさん、最近笑っていますか。それも、ゲラゲラ。涙流すほどに大笑い。どう?



インターネットサイト「ほぼ日刊イイトイ新聞」の「言いまつがい」のコーナーが、本になったのです。  
この本、とにかく、なにもかにもまつがっているのだ。

#### どれも真剣にまつがっているんだ。

真剣にまつがう。この発想がスゴイ。すでに、「まつがいつて、題名もまつがってるし、表紙だの印刷だの裁断だの、みんなみんなまつがってる。全て計画的にまつがっている。金かけてわざわざまつがっている。

#### さすがは「ほぼ日」。

オトナが本気で遊ぶと面白いんだぞ。「ほぼ日」には、いつでもそう思わせられます。一ヨコ。大事。

内容? 読んでもらえばわかります。読むしかありません。すぐに笑います。ぐんぐん笑っちゃいます。

## BOOKメモ

### ■言いまつがい

著者：糸井重里 監修

本体価格：¥515

発行：ほぼ日刊イイトイ新聞

サイズ：B6判変形 発行：2004

おなががよじれるかもしれない。立ち読みは危険かもしれません。静かな図書館も危険かもしれません。

世の中は言いまつがいの宝庫です。

言いまつがいは誰にもあるし、言いまつがいはいつもその辺に転がっている。なのに、途方もなくオカシイ。いや、だからオカシイんだ。

そして、ワタンも言いまつがうし、もちろんアナタも言いまつがう。

ね、今日も楽しくなりそうだ。

ペンギン堂店主

### あとがきのようなもの

創刊号の本を何しようかと迷っているうちに、6月です。ようやく第一号発行することができました、あーヨカッタ。毎日毎日、数多くの新刊が続々出ていて、読みたい本はたくさんあれども追いつかない。世の中に出版されている本は星の数ほどあるのですが、わたしは星の数ほどあるのでも、どのくらいに読みたいかができるのは、どのくらいに読みたいかが、ほんの一握りの本しかありません。だから、読みたいと思いつく、読みたいと思いつくまで読んでいない本が重なって、わが家よ。

そういえば、速読っていうのは、すごい速度で本が読めるわけでしょうか、うらやましいような気がします。どうなんでしょうね。ゆっくりじっくり読みたいときも、一気に読み終わっちゃうというところなんでしょうか。望まないときも速読しちゃうってことでしょうか。そうだったら、ちよっとやだなア。そのあたり、速読の技術お持ちの方、教えていただきたいと思うのですよ。

ブックデザイナーの祖父江慎さんによる装丁なのだ。

そして、驚くべきことに、装丁もまつがいだらけなのだ。

裁断が斜め。本棚に入れるとハミ出る。カドは丸い。表紙は寸足らずと思ったら折りたたんであった。穴もあいている。背表紙の上下が寸足らず。

全部まつがいですけど、間違いはありません。乱丁です、なんて云わないでくださいな。

## 勝手に装丁大将

表紙をみただけで欲しくなる本、あります。勝手に選んで、**あんたが大将!**

カラーでお見せできないのが残念です。これは実物を見ないとわからないです。機会があれば、ぜひ現物をご覧ください。

今回は、装丁大将も「言いまつがい」です。ちよつとかわつたこだわりが満載された、まつがいでだけ装丁をぜひごらんください。



■言いまつがい